

	初段	貳段	参段	四段	五段
【第1回審査会】 高校：県武会場 (参段以下対象) 4月1日・2日・3日・4日 4日間・共通問題	問1 「射法八節」を順に列挙し、「引分け」を説明しなさい。	問1 (坐射での)「矢番え動作」について説明しなさい。	問1 巻藁練習の効用について述べなさい。		
	問2 弓道を始めた動機(きっかけ)について述べなさい。	問2 あなたの弓道修練の目標について述べなさい。	問2 あなたが日々の修練で心掛けていることを述べなさい。		
【第2回審査会】 一般：日高会場 高校：所沢会場 5月14日 両会場・共通問題	問1 「射法八節」を順に列挙し、「残身(残心)」を説明しなさい。	問1 「執弓の姿勢」について説明しなさい。	問1 「射法・射技の基本」を列挙し、「目づかい」について説明しなさい。	問1 「矢の処理の三原則」を列記し、「甲矢管こぼれ」の処理を説明しなさい。	
	問2 あなたは危険防止のためにどんなことに注意していますか。	問2 あなたが審査を受ける目的について述べなさい。	問2 日常修練で仲間の安全の為にどんなことを心掛けていますか。	問2 「礼記一射義」「射法訓」の教えの要点について述べなさい。	
【第3回審査会】 一般：県武会場 6月18日	問1 「射法八節」を順に列挙し、「会」を説明しなさい。	問1 動作の注意点について説明しなさい。	問1 「射法・射技の基本」を列挙し、「基本体型(縦横十文字と五重十文字)」について説明しなさい。	問1 「五重十文字」について説明しなさい。	
	問2 弓道を通じてどのようなことを学びたいと思いますか。	問2 弓道が他のスポーツと異なる点について述べなさい。	問2 日常修練で苦勞していること、その取り組みについて述べなさい。	問2 「審査を受ける心構えと意義」について述べなさい。	
【第4回審査会】 部活顧問：県武会場 8月12日講習会 8月13日講習会+審査会	問1 「基本の姿勢と動作の様式(基本の姿勢4つ、基本の動作8つ)」を列記し、「歩き方」を説明しなさい。	問1 「三重十文字」について説明しなさい。	問1 「射法・射技の基本」を列挙し、「呼吸(息合い)」について説明しなさい。	問2 「残心(残身)」について説明しなさい。	
	問2 あなたは危険防止のためにどんなことに注意していますか。	問2 弓道を学んで感じていることを述べなさい。	問2 「審査を受ける心構え」について述べなさい。	問2 「基本体の必要性」について述べなさい。	
【第5回審査会】 一般・高校：秩父会場 9月18日 両種別・共通問題	問1 「射法八節」を順に列挙し、「弓構え」を説明しなさい。	問1 (立射での)「矢番え動作」について説明しなさい。	問1 「取り矢」の仕方について説明しなさい。	問1 「射法・射技の基本」を列記し、「心・気の働き」を説明しなさい。	
	問2 弓道を学んで良かったと思うことを述べなさい。	問2 危険防止について心掛けていることを述べなさい。	問2 弓道修練を実生活にどのように応用しているか述べなさい。	問2 指導時に心掛ける危険防止について述べなさい。	
【第6回審査会】 一般・高校：熊谷会場 一般：11月12日 高校：11月19日 両種別・共通問題	問1 「射法八節」を順に列挙し、「胴造り」を説明しなさい。	問1 「三重十文字」について説明しなさい。	問1 巻藁練習の効用について述べなさい。	問1 「詰合い・伸合い」について説明しなさい。	
	問2 弓道を通じてどのようなことを学びたいと思いますか。	問2 あなたが審査を受ける目的について述べなさい。	問2 あなたが日々の修練で心掛けていることを述べなさい。	問2 「射を行う態度」について述べなさい。	
【第7回審査会】 一般：ふじみ野会場 一般：幸手会場 2月23日	問1 「射法八節」を順に列挙し、「打起し」を説明しなさい。	問1 動作の注意点について説明しなさい。	問1 「射法・射技の基本」を列挙し、「基本体型(縦横十文字と五重十文字)」について説明しなさい。	問1 「射法・射技の基本」を列記し、「心・気の働き」を説明しなさい。	
	問2 弓道を始めた動機(きっかけ)について述べなさい。	問2 あなたの弓道修練の目標について述べなさい。	問2 弓道修練を実生活にどのように応用しているか述べなさい。	問2 「審査を受ける心構えと意義」について述べなさい。	
【埼玉】関東地域 連合審査会 五段：大宮武道館 10月21日・22日 					問1 「残心(残身)は射の総決算である」とはどのようなことが説明しなさい。
					問2 各種「ハラスメント」についてどのようなことを心掛けていますか。

【答案作成の注意事項】

- ・ 埼玉連様式の答案用紙をモノクロ印刷して使用する。両面印刷はしないこと。用紙は白色とするが、白色度には拘らない。厚紙は使用しないこと。
- ・ 直筆、楷書で丁寧に書くこと。筆記具は指定しないが、間違えた時、二重線・訂正印・修正液を使用しないこと。
- ・ 審査日、審査種別、氏名、問題を書いてから答案の作成に入る。問題の取違えがないように注意すること。取り違った場合採点の対象外となる。
- ・ 綴じ位置には2穴パンチで正確に孔をあける。ホチキス留めはしないこと。
- ・ 答案用紙は審査申込書に添えて提出すること。答案用紙の提出がない場合は受付できない。

※ 審査申込受付者(道場・学校・支部)は上記注意事項の確認と指導をお願いします。